

夏休みの生活

プール開放までの時間を活用して、「夏休み学習」に連日、何人もの子どもさんが参加しました。苦手なところを先生に相談したり、黙々と課題に取り組んだりする姿がありました。子どもたちの真剣さとやる気がすばらしかったです。

7月30日（月）、「図書館すいぞくかん」が催されました。開始時刻を待ちわびていたかのように、参加児童が増えていきました。楽しい企画に、本校児童41名、保護者や地域の皆様を含めると100名超が参加され、大盛会となりました。夏らしく、「海」にかかわる本に親しみ、読書への関心が一層高められる機会となりました。

金管バンドは、連日の練習を積み重ねて、4日（土）のサマーナイト・フェスティバルにて演奏をしました。新曲「テルーの唄」も披露し、多くの温かい拍手・声援をいただきました。

プール開放日には、連日多くの子どもさんが通い、水に親しみ泳力を伸ばすことができました。保護者・地域の皆様のお支えをいただき、安全で充実した夏休みを過ごすことができました。



「自学」する子どもたち



豊富な新企画を楽しめた半日

2学期スタート!!

「酷暑」「猛暑」といった言葉が、連日新聞の見出しを飾りました。多くの方が、体調を崩して病院に搬送されたそうですね。あまりの暑さのため、夏休みのプール開放を取りやめる学校もあったようです。

そんななか、子どもさんに大きな病気やけがもなく、この日を迎えることができたことはお家の皆様のご支援ご協力のたまものです。元気をいっぱいにとって2学期をスタートすることが



【始業式で発表してくれた皆さん】

2年生 花岡 楓さん 黒岩 千隼さん

5年生 黒岩 柚希さん

6年生 鈴木 梨菜さん 三浦 千夏さん

できました。心より御礼申し上げます。

また、この休み中に歯科・眼科・耳鼻科など医療機関への受診をしてくださったご家庭が多かったことにも感謝申し上げます（保健室調べ）。

始業式（22日）には、2・5・6年生の代表児童から、「2学期がんばること」の発表がありました。「学校を休まない」「マラソン大会で1位になれるように、毎朝走る」「おしゃべりしないで、そうじに取り組む」「運動会組体操で下の学年の友だちのお手本になる」「修学旅行に向けて『社会』をしっかりと学ぶ」など、発表した誰もが、具体的なめあてを述べました。2学期スタートにあたり、具体的な、少しがんばれば実現可能な「めあて」を持つことはとても大切なことです。そして、発表を聞いた友だちが刺激を受けて、自分のめあてを明確にすることにつながれば、始業式で発表してもらう意味も大きいと考えます。子どもたちの2学期のがんばりに期待します。

わたしは、「自分からあいさつ」「思いやりの心（ふわふわ言葉）」の大切さについて話しました。2学期の生活の中でこの二つが実現できたなら、麻績小学校はさらにすばらしい学校になると考えています。保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちの姿について、心配な姿はもちろんお知らせいただきたいですし、「あいさつが少し変わった（よくなった）」などお聞きできれば、こんな嬉しいことはありません。ご支援よろしく願いいたします。

アンナ先生 よろしく申し上げます

ALT（外国語指導助手）のアンナ・マーティン先生をお迎えしました。アメリカ・インディアナ州のご出身で、日本語の勉強を積んでこられました。ご挨拶に来校されたその日に、子どもたちの使う教科書を持ち帰られる、とても勉強熱心な方です。籍は筑北中にあり、毎週火曜日に来校して、ネイティブな発音を活用して子どもたちの学習を支えてくださいます。



【お詫び】

1学期末にお渡しした通知票の、学校名の表記に誤りがありました。

子どもさんの大切な成長の記録がこのようなことになってしまいまして、お詫び申し上げます。大変申し訳ございません。

今後は文書の配布前確認を、なお一層念入りに行う所存です。

なお、誤りの部分は修正して活用させていただきますので、ご了承ください。